

青少年を健全に育てよう

春の非行と事故防止

備えあれば憂いなし、昨年の豪雪にこりて、防雪に万全体制のもとに迎えた今年の冬は、暖冬異変で拍子ぬけたようなもの。三月の声をきくと、山野も眠りからさめて活動を始める。

春の野良仕事が始まれば、どの家も留守がちとなり、子供は冬の寒さから解放され、外へ遊びに出て行って夕方まで帰って来ない。

このような時期にはいつても青少年の非行や事故がめ

だつて多くなる。幼児が遊びに出て小川に落ちて死んだり、日向に遊んでいるうちに火遊びをして火事を起こしたり、家が留守のことを幸に家のものを持出して仲間飲食する時期もこれからである。

また中学校の卒業式が近づくと、上級生が下級生を呼び出して暴力を振ったり、おどかしたりして新聞をにぎわすのも三月の月である。

春は冬の寒さから解放されて行動にはしる季節でも

皆さん結核の健康診断をうけましょう

岩室村全住民のレントゲン検査を役場と保健所が共同で実施することになりました。役場から各家庭へレントゲンカードが配布されますので、カードを持参の上、最寄の会場でお受け下さい。皆さんの可愛い子供さんや家族から守るため一人のこらず健康診断を受けましょう。

レントゲン撮影日程表

実施月日	時 間	実施場所
4月 1日	午前10.30～午後 3.00	瀬小学校
2日	午前10.00～午後 3.00	東小学校
3日	〃	夏井公堂
6日	〃	石室公堂
7日	〃	岩和公堂
8日	〃	和納小学校

ある。

最近の青少年の非行は家庭の貧困が原因ではなく、中流家庭の子供達が大部分である。

小遣も充分与えてあるし、欲しいものは何でも買ってやっていると安心してはおられない。

夕食後のひととき家族全員が毎日話合うように努めることが、かわい我が子を非行や事故から守る唯一の道である。

万全体制で迎えた今年の雪に張合いぬけても、子供の非行防止に万全策を講じても取越苦労にはならない。

国民健康保険の保険証が 変ります

お手もとの保険証の有効期限が三月末でおわりますので、四月一日から新しい保険証に切り替えます。

古い保険証は返納していただきますので、その時期には用意しておいて下さい。診察に行かれるときは必ず保険証を持って行きましょう。

◎家族の異動はすみやかに
◎38年度分の税金は今月で
◎終了です。忘れずに納め
◎ましょう。

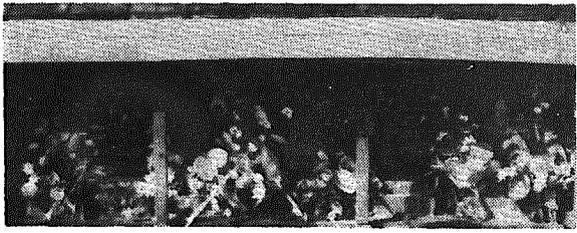
御寄附有難とう

昨年十二月二十五日、和納三区の矢之貴要蔵さん(へとどけました。66才)が厚生課を訪れて、「六体地蔵尊の維持管理をまかしてやっていると、建物の修理をして少し金が残ったので恵まれない人達の一助にしてほしい」と言われて金三百二十円を差出された。

この六体地蔵尊は和納中学校の北隣(通称塚原)にあって、お盆の十三日には矢之貴さんが一切を世話して、お坊さんと呼んで盛大な供養が毎年行なわれている。

この地蔵尊の維持修繕は主に浄財によって賄われていたが、当分修理の用がないという事で寄附されたものです。

このお金は有難く頂戴し、社会福祉協議会の会計に繰入れて、歳末たすけあ



写真は六体地蔵尊

役場へ手縫いの雑巾を贈つて来たおばあさん

西中の竹内藤子さんの老母マチさんは今年八十八才を迎え、なお矍鑠(かくしやく)。その記念にとせつせと雑巾八十八枚を手縫して「使つてほしい」と役場へ寄贈して来られた。

その心根のゆかしさに感激した佐藤村長はささやかな表彰式をあげ感謝状をおくり、厚意を謝するといふ。人情紙よりうすい昨今、うるわしいことと思う。



写真は針仕事をすする竹内マチさん

水道公認工事業者を指定

三月一日から二ケ年間の、次の業者を村の「公認水道工事店」として指定いたしました。

今後水道についての新設、増設、改良、修理などの施工や相談に応じます。指定外の業者は村の水道工事は出来なく、もしこれに違反しますと過料に処せられますからご注意ください。

尚細部については次号にお知らせいたします。

三月中の集合研修会が左記の通り開かれる。

五日 岩室中学校
なめこ、しいたけの栽培、畑作苗代、種籾の準備等について。

二十二日 岩室中学校
午前九時から修了式を行い、修了証書の交付及び専門学習生を送るパーティを開き、正午散会する。

赤十字から救援物資とどく

去る二月七日朝、火災で住宅を始め作業場、納屋、畜舎を全焼した西中の山田善一さんが一日も早く立ち直るようみんなて救援の手をの支部から毛布と日用品が早

届出て、常に正しい被保険者の氏名が記載されてあるようにいたしました。届出をおこなう際は、必ず届出を全

- 指定業者名
- 本木板金所 和納二区
- 鬼木銅工店 和納五区
- 佐藤水道工事店 和納七区
- 佐野水道工事店 和納七区
- 西久保ポンプ店 石瀬
- 久栄商会 吉田町

○三月は官庁では年度末で四月からは新しい年度を迎えますが、次号から二百字程度の投書欄を設けたいと思っております。

○誌の上とく名は自由ですが、投書には住所、氏名を明記の上、役場宛お送り下さい。(福田)